

科目名称：	ビューティ演習（美術学科）	
担当者名：	上野 佐奈美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>セルフビューティの基本知識と基本技術の修得は、社会人としての身だしなみと好印象の外見力の基本として必要不可欠となっています。この授業では、自分らしくかつ目的に合わせた、セルフビューティプログラムでセルフメイク、セルフヘア、セルフネイルケアの知識と技術等と就活基本メイクを身に付けることで自分の良さを表現して印象力を上げイメージアップすることをめざします。ナチュラルなスキンケアやハーブアロマの基礎とセルフケアも学びます。浴衣のセルフ着付けでビューティーマナーも学びます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>身だしなみの基礎と自分に合ったセルフメイク、セルフヘア、セルフネイルケアの基本技術を身につけます。スキンケアの基礎知識や目的に合わせた好印象のメイク等イメージアップができるようになります。また外見力を整え内面の向上も目指し、さらに自分の良さを引き出します。到達目標については、就活メイクや社会人になってからも活かせるセルフビューティの技術を自分の個性などに合わせ目標を決め、各回の演習の中で磨いていきます。</p>		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)					0
美術DP(4)		40	30	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 上野 佐奈美 スタイリスト	《経験年数》 35年
	《内容2》 上野 佐奈美 ビューティ&カルチャー教室主催	《経験年数》 20年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
パーソナルカルテの作成 (SBT)	全ての項目に関して80%~100%具体的に記入されている。次回の課題と目標が明確に述べられている。	全体の項目の60%~80%は記入されている。次回の課題や目標の明確さには欠けるがまとまった内容で書かれている。	全体の項目の40%~60%は記入している。次回の課題や目標のどちらか一つだけ書いてある。または二つ書いてあるが明確さや丁寧さに欠ける。内容のまとまりに欠ける。	全体の項目の20%~40%程度記入してある。次回の課題や目標が立っていない。
積極的な実技実習参加	学んだことを活かしながら、積極的に実習に参加する。特定の人とだけペアになるのではなく円滑なグループワークに取り組んでいる。	学んだことを活かしながら実習に参加する。グループのみならずと意見交換をしている。	実習に参加する。グループワークの時はいつも決まった人とペアになる。	実習に参加しない。または参加してもイヤイヤ参加。
共同的なグループ実習参加	グループのリーダーとして時間配分やグループメンバーの実習についてもサポートして	グループのリーダーをサポートしながら、実習に積極的に参加する	グループの一員として、まじめに参加した。	グループワークに参加しない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1回 セルフビューティとビューティマナー、就活の身だしなみや印象力 セルフビューティファイルの作成 テキスト (美容知識)	シラバスの精読。持ち物(テキスト、メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第2回 テキスト(メイクアップの基本) 就活メイク&ヘア	セルフビューティや就活の身だしなみについて復習する(持参:メイク道具、顔全体が映る鏡) テキスト(復習、予習)	60分
第3回 ベストカラーコーディネート(基本)グループワーク テキスト(美容知識)	ベストカラーについて復習する(持参:メイク道具、顔全体が映る鏡) テキスト(復習、予習)	60分
第4回 ベストカラーコーディネート(応用)グループワーク カラーセラピー テキスト(皮膚、肌について) 小テスト1	メイク道具やヘアー、ネイルの道具の準備をする(持参:メイク道具、顔全体が映る鏡) テキスト(復習、予習)	60分
第5回 セルク着付け1(ゆかたの着方、たたみ方、着物の基礎知識) グループワーク ソーシャルビューティマナー	ベストカラーについてまとめる。ゆかたの着方復習	60分
第6回 セルフ着付け2(ゆかたの着方、帯の結び方、たたみ方、着物の基礎知識) グループワーク ヘアケアについて	セルフ着付けの復習 ヘアケア テキスト(復習、予習)	60分
第7回 実技チェック1(ゆかた) アロマセラピー テキスト(皮膚、肌について) 小テスト2	帯結びの復習(持参:ネイルケア、メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡) テキスト(復習、予習)	60分
第8回 ネイルケアについて ネイルケア演習 アロマハンドケア テキスト(肌の手入れと正しい知識)	テキスト(復習、予習) 就活メイクの練習	60分
第9回 ネイルケア&ネイル演習(基本) テキスト(肌の手入れと正しい知識) 小テスト2	ネイルケア、アロマケアについて復習する(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第10回 ネイルケア&ネイル演習(応用)	ネイルケアの復習(持参:メイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第11回 実技チェック2(ネイル) 小テスト3 テキスト(美肌、美ボディ生活)	アロマの知識やアロマハンドケアの復習(持参:メイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第12回 ナチュラルスキンケアについて スキンケア技術	メイクの復習(持参:メイクとヘアの道具、顔全体が映る鏡) ナチュラルスキンケアの基本の復習	60分
第13回 スキンケア実技 テキスト(美肌&美ボディ生活)	スキンケアの復習(持参:メイクとヘアの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第14回 実技チェック3(スキンケア&メイク) 小テスト4	スキンケア、就活メイク、ヘアーの復習する(持参:メイクとヘアの道具、顔全体が映る鏡) テキスト(復習、予習)	60分
第15回 総合演習&まとめ	ビューティ演習の復習をする(持参:メイクとヘアの道具、顔全体が映る鏡)	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、復習内容を小レポートにまとめておくこと。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 講義時間内の小テスト40%(1回10%×4回) 実技チェック30%(1回10%×3回) 講義、実習に関する積極的関与を30%で評価する。		
課題に対してのフィードバック		
授業内、次回までの課題レポートは評価し、返却する。また、実技チェックはその都度、技術向上に向けてのアドバイスを含め評価する。		
教科書・参考書		
オリジナル教材セットの購入(スキンケア・ハンドケア・ネイルケア・衛生品・テキスト)、その他、演習用の基本メイク、ヘア、ネイル道具の消耗品が必要。		